

**令和4年度
サツポロサタデースクール事業
研 修 会**

「令和5年度地域学校協働活動推進事業」について

令和5年度
「地域学校協働活動推進事業」
について

- 1.はじめに 来年度の変更点
- 2.事業目的 (おさらい)
 - ・本事業の課題点
- 3.課題解決において
 - ・取り組みによる効果
 - ・今後の方向性
- 4.令和5年度地域学校協働活動推進事業
 - ・基本のしくみ
 - ・コーディネーターの役割
 - ・事業実施に当たり注意点
 - ・ハンドブックについて
- 5.さいごに

来年度の変更点

■事業の名称を変更します

現行 : サッポロサタデースクール事業

新名称 : 「地域学校協働活動推進事業」

※愛称「サタデースクール」として活用可

■プログラムメニューが増えます

メニュー名 : 「学校支援に関する活動」

✓子どもへの多様な学びの提供のみならず、
地域の協力のもと「学校の働き方改革」を
踏まえた活動を目指す

ex) 学校周辺の環境整備、
校外学習等の見守り 等

この他に事業の実施手法等、大きな変更はありません

2. 事業目的（おさらい）

■ サッポロサタデースクール事業

- ・ 土曜日を始めたとした休日に、学びや体験の場（プログラム）を提供することにより、子どもたちが充実した休日を過ごす
- ・ プログラムの企画・運営を通して、**地域と学校の連携・協働の仕組みを整え**るとともに、**地域全体で子どもを育てる意識の向上を図る。**
 - ✓ 学校区を基本的な範囲
 - ✓ 地域にあるさまざまな資源を生かす
 - ✓ 学校だけでは得られない学び・体験

課題

① プログラムの実施可能日が「休日」

- 参加者の固定化
部活動、少年団、習い事などとの重複
- 運営の人材不足や負担感
個人の休息、趣味、家族の余暇活動などとの重複

② 学校主体の実態

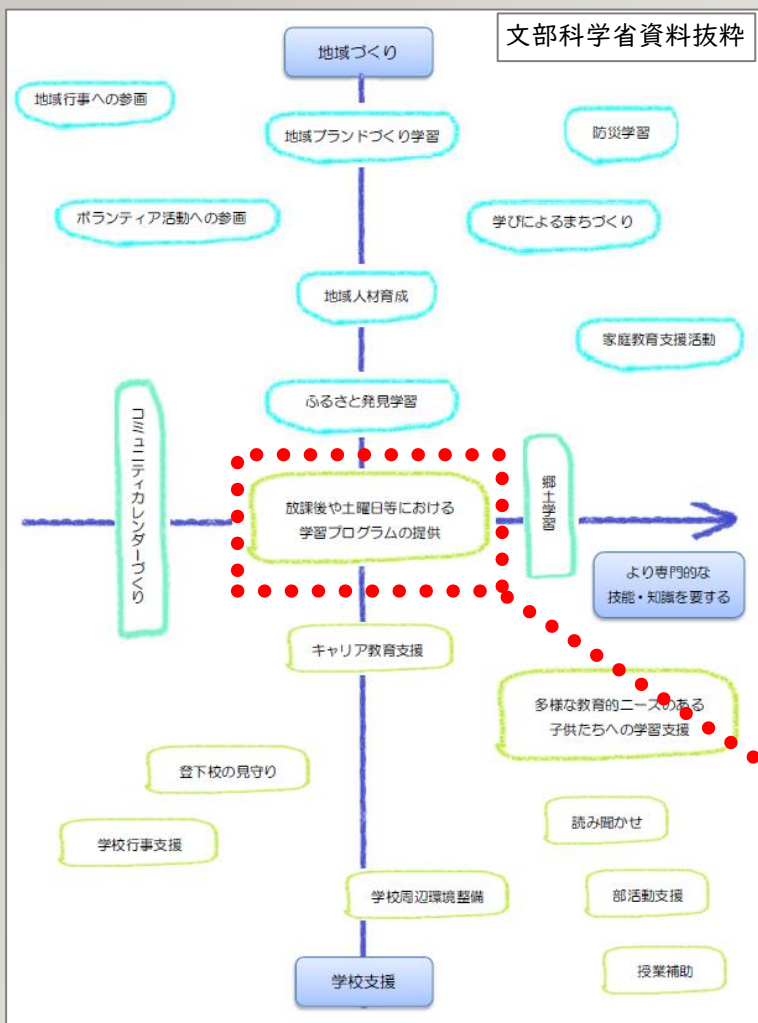
- 関係教職員の負担増

さらには、社会全体の構造として、

- 社会の急激な変化に伴い、学校の抱える課題が複雑化、多様化し、学校だけでは解決が難しくなっている。
- 地域社会のつながりや支え合いの希薄化等により、地域の教育力が衰退している。

3. 課題解決に向けて～地域学校協働活動～

子どもや学校の抱える課題に対して、
地域全体で対応する必要性が高まっている



- 幅広い地域住民等の参画を得て、子どもたちの学びや成長を支える
- 地域と学校がパートナーとして取り組む地域づくり

✓ サタデースクールは地域学校協働活動の取組の一つ

放課後や土曜日等における
学習プログラムの提供

サタデースクール
事業の課題

+

学校や子供を
取り巻く課題

課題の解決と
地域学校協働活動への本格的な移行を見据え

令和4年度

済

サッポロサタデースクール事業平日拡大試行実施

① 参加者の固定化の改善

- ▶教育課程内や放課後の活動により、これまで参加機会に恵まれなかった子どもに対しても体験機会等の提供が可能となった

② 地域間のネットワークの形成

- ▶実施日の柔軟性により、子どもに関わる様々な人材や団体が活動に参画しやすくなり、地域間で新たなつながりが形成された

③ 教職員の負担軽減に寄与

- ▶ゲストティーチャーの招聘など、教育活動の実施における各種調整をコーディネーターが担うことで、一定程度、教職員の負担軽減に資する取組が見込めた

令和5年度地域学校協働活動推進事業

今後の方向性

- サッポロサタデースクール事業で培ってきた経験等を生かし、学校、家庭、地域等の連携・協働により、地域総がかりで子どもの成長や学びを支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指し、今後、段階的に実施手法を直しながら、地域学校協働活動を推進していく

1

平日拡大

2

事業名称変更
活動内容の拡充

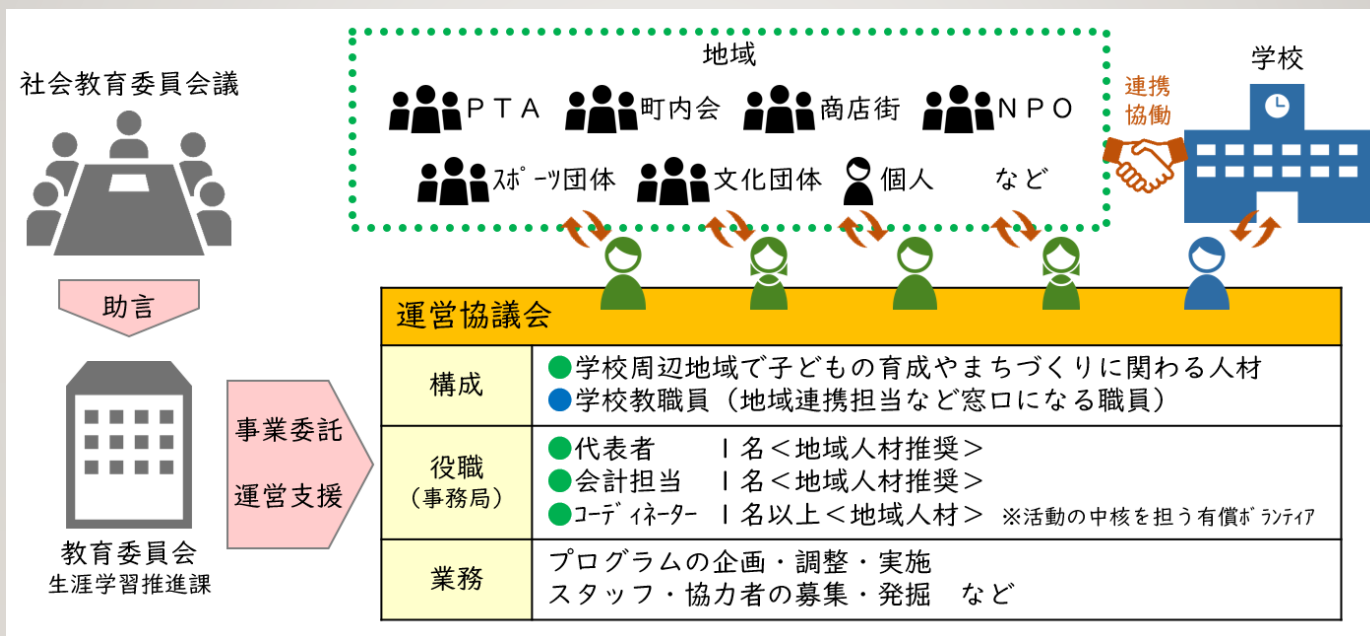
3

よりコーディネーターが
活動しやすく！
より活動費を使いやすく！
より連携・協働しやすく！

今後導入予定の
コミュニティ・スクールとの
一体的な推進

4. 令和5年度地域学校協働活動推進事業

基本のしくみ



コーディネーターの役割

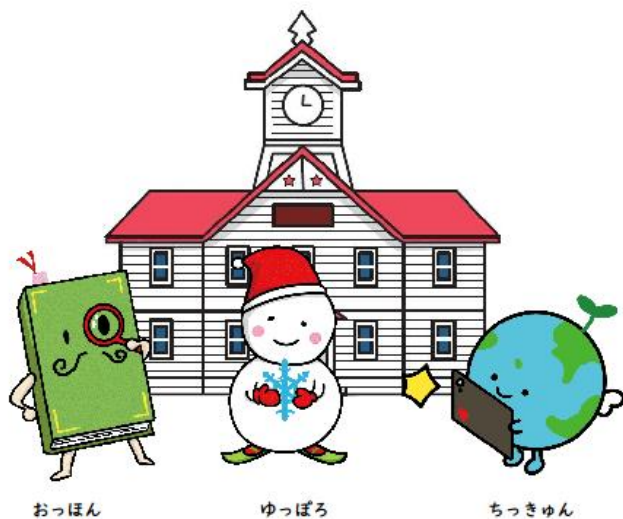
- 各プログラム詳細の調整
- 事前準備の役割分担・進捗状況管理
- 学校施設の利用、参加者募集・取りまとめにかかる実施校との連絡調整
- 各プログラムの実施当日の進行管理
- 実施したプログラムにかかる報告書の作成
- その他、プログラムの企画・実施に必要なこと

事業実施に当たり注意点

- 委託契約に係るご案内は3月中旬を目途に通知
- 初回プログラムの実施日は原則5月以降
※4月中に実施を予定する場合は個別対応しますのでご連絡ください。
- 昨年度同様に契約手続きは随時受付（毎月締切設定）
契約の最終締切は令和5年10月
- プログラムの時間単価を 15,000円⇒10,000円に変更
単独協議会 上限300,000円（合計30時間）
連携協議会 上限400,000円（合計40時間）
- 契約後、委託料の変更（増減）、繰越、返還は不可

4. 令和5年度地域学校協働活動推進事業

令和5年度地域学校協働活動推進事業
ハンドブック
(旧サッポロサタデースクール事業)



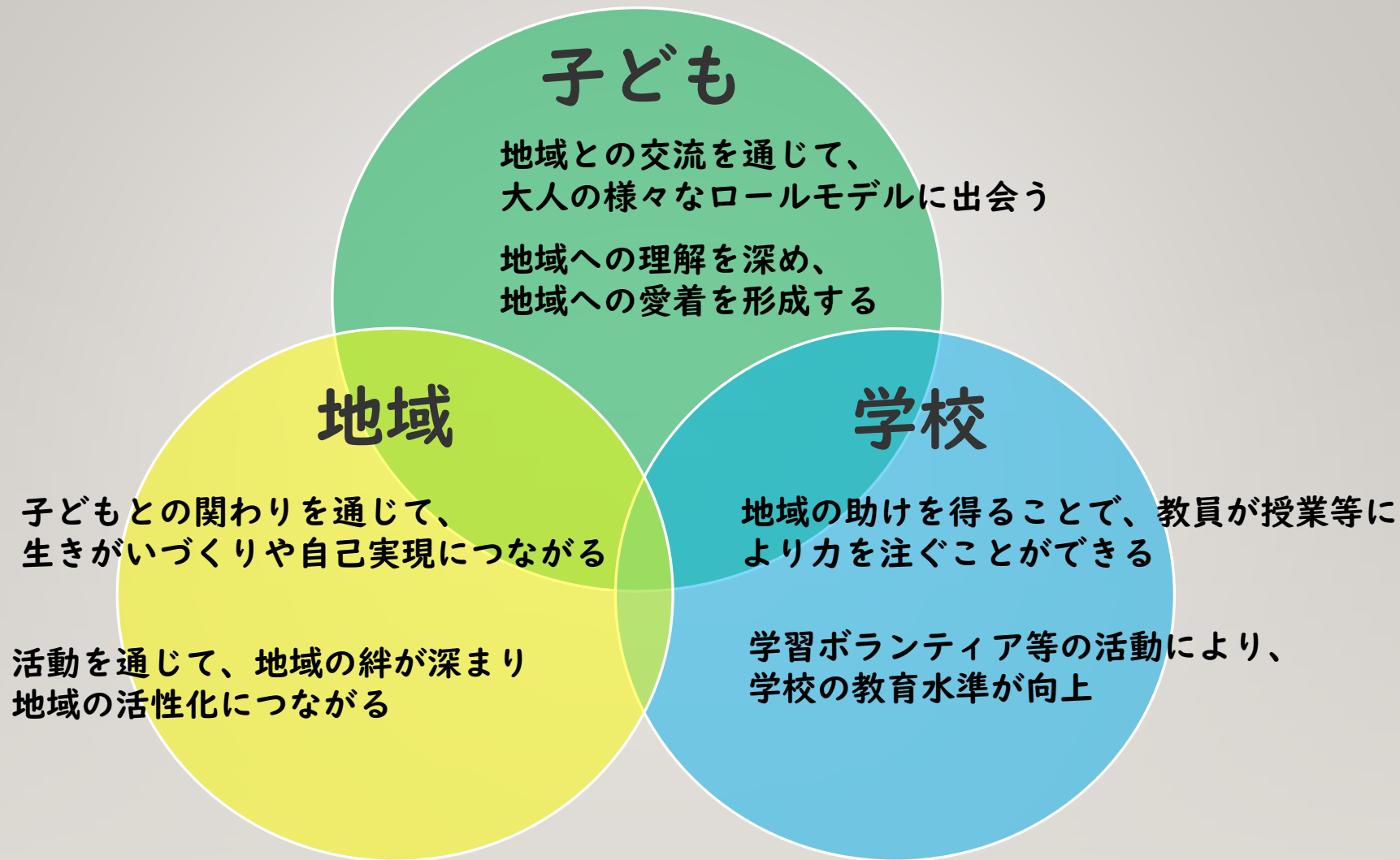
札幌市教育委員会生涯学習推進課

P 1 ~
事業概要
「趣旨・目的」 「変更点」

P 4 ~
プログラムの概要
「学校支援に関する活動」

P 15 ~
運営費
「委託料の額」
「委託料の用途」

5. さいごに





ご相談・お問合せは

札幌市教育委員会生涯学習推進課

☎ 211-3872（社会教育担当）まで